

第 3 回家庭教育学級

将来うちの子何になる？ を考える。

～仕事の多様性や選択と母親ができる環境づくり～講演会のご報告

1 月 26 日（木）、塚戸小学校の PTA 会員でもあるプロ登山家の竹内洋岳氏の講演会を開催いたしました。世界トップレベルの登山家のお話をうかがえる貴重な機会ということもあり、当日はお父様方の参加も目立ち、61 名の保護者の方々が参加されました。

講演は、会場からの質問に竹内氏が回答する形式で行われ、今年度最後の講演にふさわしい活気に溢れた講演となりました。

興味深い内容のお話をたくさん頂戴いたしましたが、紙面の関係でその一部ですが、ご報告いたします。



Q 幼少期は、どんなお子様でしたか？

A 親にやりなさいと言われたことはやらず、体にいいから食べなさいと言われたものは食べない、全て逆をやる、そんな子どもでした。

体も弱く、運動もできない、勉強もできないそんな私をみかねた祖父が「何もかもできるより何かひとつ負けないものがあれば、食っていける」と言ってくれました。

Q 将来うちの子は何になる？ 母親ができる環境づくりとは？

A 好きと得意は違います。子どもの得意なものは何かを見つけてやりたい。

では、得意なものはどうやったら見つけられるか？ それぞれの環境の中で得意なこと、能力は発揮されません。

空気が薄い山でも生きていけるという能力は、今ここで見せてくださいと言われても見せられない。

標高 8000m の山に立ち入らなければ能力は発揮されない。人間はそのようなつくりになっているのです。

それぞれに誰にも負けない得意分野はあるが、その環境に行かないとその能力は発揮されない。

親にとって出来る事は、いろいろな環境があるということ伝えること、また、いろいろな環境を経験させてあげることではないかと思えます。

ご多用の中、毎回、多くの皆様にご参加いただきましたこと、感謝申し上げます。
1 年間、ありがとうございました。 家庭教育学級委員会一同